

## かわさき区の宝物シート

宝物No.
10-5

かなやまじんじゃ(かなやまじんじゃきょうどしりょうしつ)  
**金山神社・金山神社郷土資料室**

エリア	大師地区	シーズン	春・通年
	大師周辺	日時	

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る	<input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input type="checkbox"/> 食べる	<input type="checkbox"/> その他
宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり	<input type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input type="checkbox"/> 味づくり	<input type="checkbox"/> にぎわい
	<input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの	<input type="checkbox"/> 港めぐり
	<input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input type="checkbox"/> 人物



写真提供：若宮八幡宮



所在地	川崎区大師駅前2-13-16
問い合わせ	若宮八幡宮
TEL	044-222-3206
FAX	044-233-3060
E-mail	
URL	<a href="http://tomuraya.co.jp/wakamiya-8.htm">http://tomuraya.co.jp/wakamiya-8.htm</a> (e-大師ネット／金山神社)
交通	京急川崎大師駅より徒歩約1分、若宮八幡宮内



### 基礎情報

■御祭神は金山比古神（カナヤマヒコノカミ）と金山比売神（カナヤマヒメノカミ）。俗称「かなまらさま」と呼ばれ、境内の各所には大きな男性のシンボルが鎮座する。子孫繁栄、夫婦円満、安産、性病除けなど、性神として広く信仰を集め、近年ではエイズ除けとしても有名。

■毎年4月の「かなまら祭」では男根を象った神輿が担ぎ出される。

■資料室には鉄や石仏に関連した本や奉納されたたくさんの男根や、性風俗の絵図、人形、文献など「性」にまつわる数々の資料が展示されている。広くはヒンズー教のインド、キリスト教のヨーロッパなど世界各地の珍しい資料、歓喜佛などが集められている（入室無料）。

### 由来・エピソード

■イザナミノミコトが火の神を生んだ際、下腹部に大火傷を負い、これを治療したのが金山比古神と金山比売神の両神と伝えられる。もともとは鍛冶屋の神で、社殿内部には鍛冶屋の作業場が再現されており、鍛冶で使う「ふいご」や炉が置かれている。ふいごで火を起こす時の動作が男女の和合に似ていることから、夫婦円満、子孫繁栄、お産や下半身の病にご利益があるといわれている。

■江戸時代に川崎宿の飯盛女たちの下半身の病除けの地べた祭りに端を発し、かなまら祭りが行われるようになったと伝えられている。

■毎年、鍛冶職人や金物を扱う会社・工場などによって神前にて祭事「ふいご祭」が11月1日に行われる。

### 補足・その他

■かつて金山神社は、川崎大師駅の東側にあったが、大師電気鉄道の軌道に境内地がかかってしまうことから若宮八幡宮の境内に遷座された。

■社殿は、平成11年(1999)の建て替えにあたり、鉄をイメージし外側を鉄板でおおい、黒1色の一辺約3mの正八角形、高さが8mの吹き抜けで、一般的な「神社」とは異なる個性的な社殿となった。内部も床の半分を土を固めた土間として仕切り、正面中央部に「ふいご」と「炉」をおき、金床を埋め込んで鍛冶屋の作業場を再現してある。

### 関連シート

(5-6)金床(福嶋鐵工所)  
 (10-3)若宮八幡宮・若宮郷土資料室  
 (10-8)かなまら祭  
 (18-3)ふいご(近藤鐵工所)